

イハ洋一からのメッセージ



私は、イハ洋一
は、普天間基地
の返還、県内移
設を許さないと
いう、県民の強
い意思を日米両
政府に示し、決
着をつけたいと
の思いから、県
知事選挙への立
候補を決意しま
した。

今年1月、名
護市で「海にも、
陸にも新しい基
地は造らせない」
という稲嶺進市
長が誕生しまし
た。

政府は、再び辺野古への移
設を押し付けてきました。
今度の知事選挙は、沖縄
県民と日米両政府のたたか
いです。普天間基地の返還、
県内移設反対は県民の総意
です。今度こそキッカリ決
着をつけようではありませんか。
イハ洋一は、知事に

私は、イハ洋一は、基地の県
内移設を前提とした振興策
ではなく、県民が求める、
県民の生活を豊かにする振
興策をしっかりと打ち出し、
実行できる県政を今度こそ
実現します。

3つめは、県民の命と福
祉を大事にする問題です。

「金がない」ことを理由に、
県立病院や看護学校、社会
福祉事業団を切り捨てる冷
たい県政から、県民の医療
や福祉を守る県政に切り替
えていくことが必要です。

私は宜野湾市長時代、沖
縄で初めて、中学卒業まで
医療費を無料にし、また認
可保育所を増やして子育て
支援にも力を入れてきました。

支那協だより

第90号

発行所
NTT労組退職者の会
沖縄県支部協議会
沖縄県浦添市城間4-35-2
☎098-870-7101
Fax.098-875-7450
責任者
黒島善市

私は、イハ洋一は、宜野湾
市長時代の経験を生かして、
県政に「福祉の心」を取り
戻し、みんなが笑顔で支え
あえる社会の実現に全力で
取り組みます。

私は、イハ洋一を県知事に
押し上げていただけますよ
うお願い申し上げます。

私は、イハ洋一は、宜野湾
市長時代の経験を生かして、
県政に「福祉の心」を取り
戻し、みんなが笑顔で支え
あえる社会の実現に全力で
取り組みます。

私は、イハ洋一は、宜野湾
市長時代の経験を生かして、
県政に「福祉の心」を取り
戻し、みんなが笑顔で支え
あえる社会の実現に全力で
取り組みます。

『イハ洋一』『安里タケシ』の支持者拡大を！

ダブル選挙の必勝を期して、希望の持てる沖縄へ

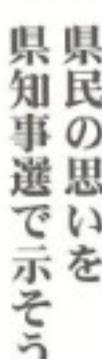


執行委員長
濱元 盛任

「普天間基地
の早期閉鎖・返
還」をかけた重
要な「沖縄県知
事選挙」がいよいよ迫ってきました。
一一月一一日に告示され、二八日投・開票が決まつた今回の選挙。現職の仲井真知事と、宜野湾市長を辞任し出馬した「イハ洋一氏」の事

実の一騎打ちで初めて、中学卒業まで医療費を無料にし、また認可保育所を増やして子育て支援にも力を入れてきました。

私は宜野湾市長時代、沖縄で初めて、中学卒業まで医療費を無料にし、また認可保育所を増やして子育て支援にも力を入れてきました。



県民の思いを
県知事選で示そう
会長 黒島 善市



会長 黒島 善市

日米両政府は五月二八日、米軍普天間基地を辺野古に移設することで合意した。その後に県内マスコミと全国紙が合同で行なつた県民世論調査では、辺野古移設に反対が八四%で賛成は六%だ。また、海兵隊の沖縄駐留について「必要ない」は七一・二%に達する一方、「べき」は七%にとどまつた。

私たちもこれまで、住民投票、県議会選挙と同決

